

新しい時代をリードする「やさしい未来都市」の実現を目指して、令和6年 度にさまざまな取り組みを行いました。この一年で実施した事業の一部を

問財政課 ☎(082)420-0918



重点施策 1

▶ 23億4.235万円

命と暮らしを守る体制の整備

- ■災害死ゼロを目指した防災対策 気候変動を踏まえた治水対策の推進 地域防災力・災害対応力の強化
- ■総合的な医療体制・救急医療の強化 産婦人科・小児科・麻酔科の医師確保 救急医療体制の強化

親子を対象にした防災公開講座

災害に対する心構えや正しい知識を親子で 学ぶ「子育てぼうさい広場」を年2回実施。乳 幼児から小学生までの親子計31組89人が参 加しました。必要な防災用品を自分たちで考 えて持ち出し袋を作ることや、AED(自動体 外式除細動器)を使った救命処置体験などを 行い、防災への学びを深めました。





防災用品を購入した人への補助

能登半島地震などの教訓から、備蓄食料や 簡易トイレなどの防災用品を購入した避難行 動要支援者等79人に、補助金を交付しました。



令和7年度から 手続きが 簡単に!



対象の防災用品の一例

重点施策 2

▶ 24億9.275万円

仕事と生活価値を創造する基盤づくり

- ■中小企業者の活性化 イノベーション創出環境の充実 地域企業への支援強化
- ■成長産業の集積と新たな企業立地、 投資の促進
- 半導体関連産業等エコシステムの形成に向けた支援 産業用地の戦略的確保
- ■豊かな農村生活の実現と農業の 生産性向上 持続可能な農林水産業の基盤整備 農業の高収益化の推進
- ■東広島ブランドの確立 特徴を活かした観光振興 地場産品のブランド化推進

農業者の創意工夫ある事業に 補助金

収益と生産性の向上、販路の開拓につなが る取り組みを行った農業者に対し「意欲ある 農業者チャレンジ支援事業補助金」を交付。 加工機械や特別なうねをつくる器具の購入 など、全6件を採択しました。

取り組みを紹介

河内町の農事組合法人うやまは、アスパラ 栽培を終了した田畑の活用と、人口減少が進 む宇山地区への来訪者を増やすことを目指し て、貸し農園を整備。農具の貸し出しや経験

者によるサポートなどの体制を 整えたほか、PRのためのホーム ページを作成しました。





貸し出ししているビニールハウスと田畑(左)、 農作業を行う小屋(右)

重点施策 3

調和社会の実現

保育環境の充実

▶ 29億8.716万円 誰ひとり取り残さない多様性と

- ■誰ひとり取り残さない支援体制の充実 地域を基盤とする包括的な相談支援体制の充実 高齢者や障がい者、生活困窮者への支援
- ■安心して子どもを産み育てられる まちづくり こどもまんなか社会に向けた子育て支援の充実
- ■国際色豊かなまちの形成 外国人市民が安心して暮らせる環境づくり

保育現場の魅力に触れる バスツアー

保育士の人材不足解消に向けて、中高生や 保育士養成校の学生を対象に「保育施設見 学バスツアー」を実施。市内3園を訪問し、子 どもとの触れ合いや現役保育士との意見交 換を行いました。



親子を支える体制を強化

妊産婦や乳幼児の保護者への支援と、虐待 や貧困・ヤングケアラーの支援を一体的に行 う「こども家庭センター」を設置。保健師や心 理相談員などの専門職員を配置し、親子の安 心と成長を支える体制を強化しました。

子どもの医療費支給を拡充

子どもの医療費の一部を支給す る[こども医療費支給制度]の対 象を高校3年生相当の子どもまで 拡大し、所得制限を廃止しました。



重点施策 4

▶ 16億1.660万円

多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり

- ■地域別計画の推進による 地域の誇りの創出 地域に応じた住民自治活動の支援 地域活動拠点の充実 学びのキャンパスの推進
- ■希望ある未来へ挑戦する プロジェクトの展開

市内3大学におけるTown & Gown 構想 大学と連携した魅力あるまちづくりの推進 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開 新たな魅力ある都市空間の形成 中山間地域における生活価値の創造

住民自治協議会の活動支援

自治協が行うイベント等の企画・運営支援 を強化するため、市民協働センターの人員を 増加するなど体制の充実を図りました。中黒 瀬住民自治協議会のまちづくり5年計画作成 の支援として、年4回、ワークショップを実施。 地域の課題や将来像の言語化をサポートしま

意見交換が活発になり、実りあ る計画づくりが進みました。中黒 瀬自治協のインスタグラム開設支 援で、広報の幅も広がりました。

> 中黒瀬住民自治協議会 事務局長 山口さん

高屋情報ラウンジを整備

JR西高屋駅2階の自由通路に併設して「高 屋情報ラウンジ あったかや」を整備しまし た。約1,500冊の閲覧専用の蔵書や電子書籍 も楽しめます。地域活動のミーティング、待ち 合い、テレワークにも利用されています。





まちづくり決算レポート

重点施策 5

▶ 10億9.673万円

時代を担う子どもを育てる教育・ 保育の推進

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の 一体的な充実

GIGA スクール構想のさらなる推進 学校支援体制の強化 不登校等児童生徒への支援

- ■地域・大学・企業等との 特色ある教育活動の協働 特色ある教育活動の推進
- ■さらなる幼児教育・保育の質の向上 保育の質・専門性の向上 生きる力を育む保育環境の充実 未来を担うこどもの育ちサポートの推進

大学生が中学校の部活動を支援

部活動の地域展開に向けて、大学生が市内 の中学校の部活動をサポート。広島大学と広 島国際大学の学生計19人が、5校15の部活 動で指導の補助や練習メニューの作成など に携わりました。



黒瀬中学校陸上部を担当 記録が伸びたときは一緒に 喜びを感じ、教職を目指す上で

広島国際大学健康スポーツ学部 健康スポーツ学科3年 前田さん

9

貴重な経験ができました。

遠隔授業の参加場所を拡充

市内の小・中学校と地域や広島大学などを オンラインでつなぎ、地域課題や多文化共生 をテーマに学び合う「広域交流型オンライン 学習」。スペシャルサポートルームやフレンドス ペースの児童生徒も参加できる体制を整え、 授業を補佐する大学生を配置。小・中学校で 計14回実施し、延べ約3.000人が学びました。



小学校のオン ライン授業の 重点施策 6

▶ 3億418万円

持続可能な次世代環境都市の構築

- ■脱炭素化の推進 CO2排出量の削減に向けた取組み
- ■豊かな自然環境の保全と活用 多様な主体と推進する循環型社会の形成
- ■ごみの減量化プロジェクトの推進 価値ある資源としての活用の促進

8施設に省エネ機器など導入

市内の小・中学校と地域センター計8施設 に、省エネ空調機と太陽光発電設備・蓄電池 を設置しました(2施設は空調機のみ)。温室 効果ガス排出量の削減と、再生可能エネル ギーの活用で環境負荷を低減。年間のCO₂排 出量を約68t削減する計画です。



高屋中学校の体育館に設置された空調機

ペットボトルの水平リサイクルを 推進

使用済みペットボトルを新たなペットボト ルに再生する「**水平リサイクル**」を、県内で初 めて導入。ペットボトルを資源として何度も再 生でき、新たな原料から作るよりCO2排出量 を約60%削減*。限られた資源を無駄にしな い、ペットボトルの水平リサイクルを推進しま した。※使用済みペットボトルからプリフォーム(ペットボトルの原 型)製造までの工程において、新たに化石燃料を使用する場合との比較



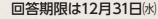
水平リサイクルの 取り組み

■認:■

特集に関するアンケート実施中!

アンケート回答者の中から抽選で、

市の特産品を贈呈します。





一般会計

福祉、教育、消防、道路の整備など、 市の基本的な事業を行う会計です。



208億3.849万円

繰入金などです。

地方交付税

71億6.245万円

付されるお金です。

地方讓与稅、各種交付金、分担金・

自扣金、使用料·手数料、繰越金、

自治体間の財源の格差是正とし

て、一定の基準により国から交

福祉費、生活保護費)および保健衛生費に充当しています。

データで見る!

令和6年度決算

その他

1.016億1,457万円

20.5%

7.1%

8.1%

※歳入の「その他」の中には、地方消費税交付金が含まれていますが、平成26年4月からの消費

税率引き上げによる増収分は28億4.436万円となっており、これは、民生費(社会福祉費、児童

歳入

25.8%

市税(法人市民税および固定資産税)、市債お よびその他(地方特例交付金等)の増により、前 年度と比較して歳入全体が増加しました。

市税 391億4.605万円

38.5%

37.3%

市民税、固定資産税、軽自動車 税、市たばこ税、都市計画税な ど、市へ納入される税金です。

国庫支出金・県支出金 262億3.838万円

国や県から使用目的を特定して 交付されるお金です。

市債

82億2.920万円

施設建設や道路整備など多額 の費用がかかる場合に、国や銀 行などから借り入れるお金です。

997億9,591万円

2.1%

8.1%

10.7%

8.9%

3.29

6.5%

11.0%

歳出

12.2%

総務費

お金です。

106億3,768万円

窓口サービスや市役所の

一般的な事務に使われる

扶助費(私立保育所等給付費、児童手当等) および普通建設事業費(西高屋駅自由通路等 および小学校施設整備等) などの増により、 前年度と比較して歳出全体が増加しました。

民牛費

その他

64億4,032万円

消防、災害復旧などに 使われるお金です。

農林水産業費 21億1.746万円

農業の振興に使われる お金です。

商工費 31億6.122万円

商業や工業、観光の振 興に使われるお金です。

衛牛費

81億1,922万円

健康づくりの支援や医療体 制の充実、ごみ処理などの ために使われるお金です。

公債費

89億2.958万円

市債を返済していくための お金です。

372億6,486万円 子育て支援や高齢者施策 の充実など、福祉の向上の ために使われるお金です。

教育費 121億4,053万円

学校教育、生涯学習や文 化・スポーツなどの振興の ために使われるお金です。

十木費

109億8,504万円

道路や河川、公園などを整 備するためのお金です。

2025.12 広報東広島 2025.12 広報東広島

目的税の使い道

目的税は特定の事業の費用(一般財源)に充てるた めに負担する税金で、使い道が特に限定されていない 市民税や固定資産税などの普通税とは区別されま す。本市の目的税には、都市計画税と入湯税、森林環 境譲与税があります。

都市計画税(歳入:17億3,268万円)

都市計画区域の市街化区域内(平成22年度から は用途地域を含む)の土地と家屋を対象に課税し ているもので、街路や下水道などの都市計画事業の 一般財源に充てられます。

区分	事業費	うち一般財源
下水道	54億5,984万円	8億5,202万円
公債費	26億7,513万円	7億5,150万円
街路	25億3,834万円	1億7,825万円
区画整理	8億9,126万円	4億8,543万円
公園	5億6,768万円	6,363万円
合 計	121億3,225万円	23億3,083万円

● 入湯税(歳入:265万円)

鉱泉浴場の入湯客が1人1日につき50円(宿泊を 伴う場合は150円)を負担するもので、消防施設の 整備などの一般財源に充てられます。

区分	事業費	うち一般財源
消防施設	3億2,097万円	1,934万円
観光振興費用	1億4,378万円	1億2,444万円
環境衛生施設 5,302万円		3,945万円
合 計	5億1,777万円	1億8,323万円

●森林環境譲与税 (歳入:5,205万円)

森林整備などを安定的に実施できるよう [森林 環境税 | が令和6年度から始まりました。「森林環境 税1は、「森林環境譲与税1として国から各市町に配 分され、森林整備や人材育成に活用されています。

区分	事業費	うち一般財源
森林環境保全	5,340万円	5,340万円
合 計	5,340万円	5,340万円

特別会計

国民健康保険や介護保険など、特定の事業を特 定の収入によって行う会計です。

会計名	歳 入	歳 出
ひがしひろしま 墓園管理事業	827万円	827万円
特定地域 生活排水処理事業	1,256万円	1,256万円
八本松駅前 土地区画整理事業	9億7,260万円	7億9,492万円
国民健康保険	156億8,855万円	156億4,523万円
後期高齢者医療	28億7,659万円	28億6,523万円
介護保険	133億7,018万円	131億5,023万円

公営企業会計

主に使用者からの料金収入によって事業を行う 会計で、地方公営企業法の適用を受けるものです。

• 下水道事業会計

区分	事業費	
収益的収入	58億 848万円	
収益的支出	53億5,752万円	
資本的収入	52億1,445万円	
資本的支出	74億2,223万円	

(消費税および地方消費税を含む)

地方債および基金の現在高

●地方債

基金

722億1.666万円

市民1人当たり:37万9,363円

381億5.163万円

市民1人当たり:20万415円

※下水道事業を除きます。

※市民1人当たりの数値は、令和7年3月末時点の 住民基本台帳人口(190,363人)から算定して います。

令和7年度 上半期の財政状況

令和7年度上半期(4月1日~9月30日)の予算執行状況などについてお知らせします。

₩予算とその執行状況

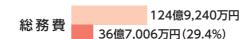


▶ 一般会計の主な歳出予算の執行状況

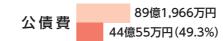
















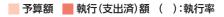


▶市有財産の状況

368億3,297万円



⇒ 下水道事業会計の執行状況

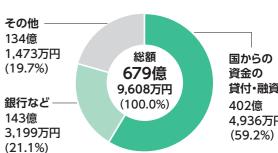


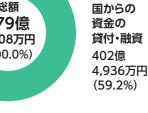




⇒ 市債の現在高(借入先別)











[※]資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、 損益勘定留保資金などにより補てんしました。